

I 新たな計画のあらまし ～新たなカタチと込める想い～

(1) 計画の名称

まちづくりの羅針盤 ～“いいムラ”のデザインと実現～

(2) ミッション・ビジョン・バリュー

新たな計画「まちづくりの羅針盤」の策定にあたり、新たな試みとして、村民の意見などを踏まえながら、「ミッション、ビジョン、バリュー」の考え方を取り入れました。これらの概念は、社会の中で組織の存在意義を示すもので、組織の一員にとっては仕事をする上で拠り所となるものです。

本村のミッション・ビジョン・バリューは以下の通りです。

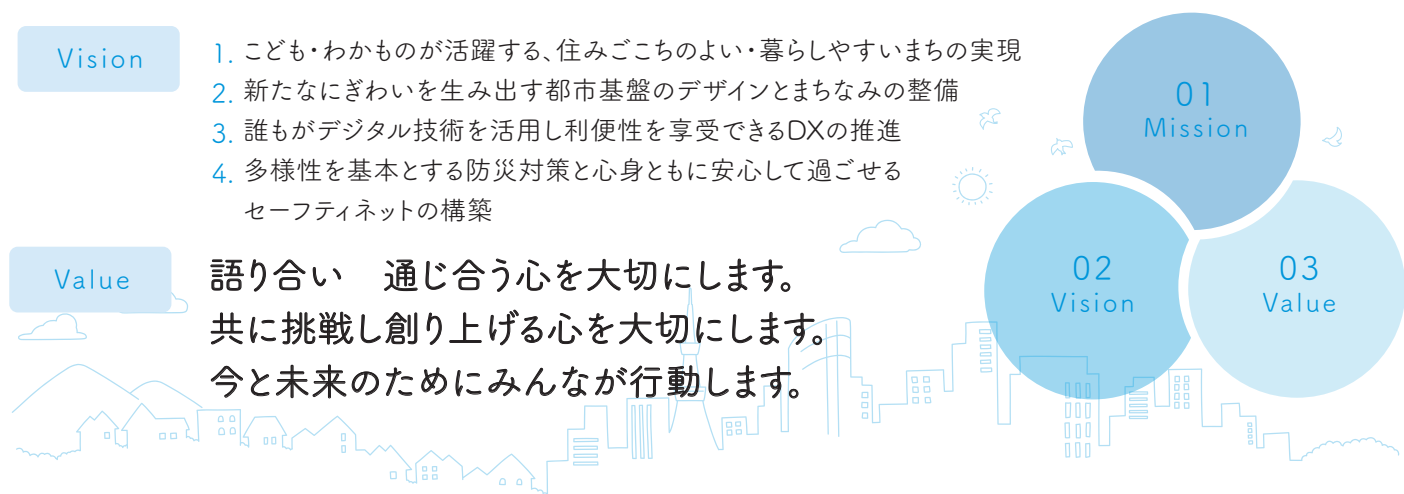
Mission 一人ひとりの“想い”をつなぎ 誰もが“幸せ”になれる「いいムラ」を創る

Vision

1. こども・わかものが活躍する、住みごちのよい・暮らしやすいまちの実現
2. 新たなにぎわいを生み出す都市基盤のデザインとまちなみの整備
3. 誰もがデジタル技術を活用し利便性を享受できるDXの推進
4. 多様性を基本とする防災対策と心身ともに安心して過ごせるセーフティネットの構築

Value

語り合い 通じ合う心を大切にします。
共に挑戦し創り上げる心を大切にします。
今と未来のためにみんなが行動します。

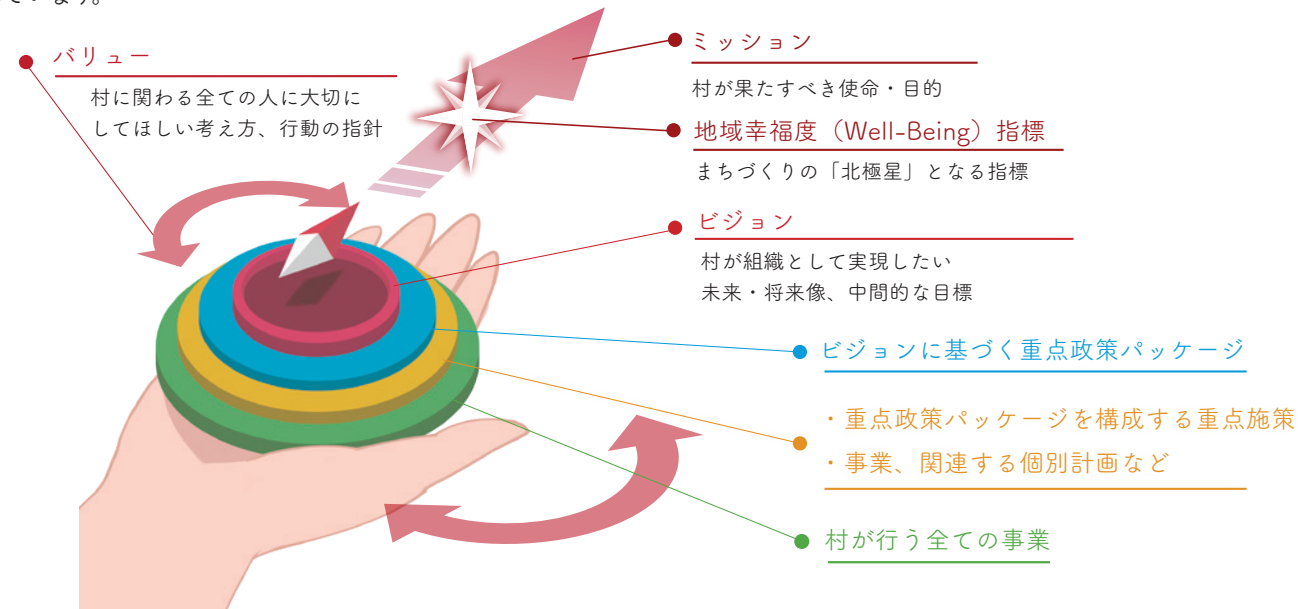


新たな計画では、ミッション、ビジョンを定め、バリューに基づく行動によって達成される計画のあり方を、「羅針盤」をモチーフにして表します。

本村の進むべき方向性を示す「北極星」となる指標として、「地域幸福度（Well-Being）指標」を設定し、地域で暮らす人びとの幸福度を高めることをめざしてまちづくりを進めます。

また、羅針盤を持つ手は、村民・事業者などを含めた村の全ての主体を示しており、幸福度の向上という終わりのないミッション（使命・目的）を果たすために、バリュー（行動の指針）を常に思い描き、北極星である幸福度の向上に向け進んでいきます。

また、羅針盤の“針”をのせるビジョン（中期的な目標）は、柔軟に見直しながら、常に現在地を確認し、歩みを進める様子を表しています。



II 新たな計画実現のための取組み ～目標と4つのビジョン～

新たな計画「まちづくりの羅針盤」では、目標に地域幸福度（Well-Being）指標を活用することで、村民の幸福度を可視化し、計画の推進によりその向上をめざします。

各ビジョンには、それを達成するための重点施策・事業群で構成される「重点政策パッケージ」を設けます。



それぞれのビジョンには、重点政策パッケージにおける各種の施策・事業の推進の参考とするため、地域幸福度（Well-Being）指標を構成するカテゴリーの中から適切なものを選定・設定し、取組みの進み具合を測っていきます。

また、重点政策パッケージには「Our Action!（ビジョン実現のための方向性）」、「みんなの力で Let's Act!（村民・事業者なども含めた村全体の取組みの方向性）」、「Village Action!（村（行政）が行う施策・事業の方向）」を示し、村全体で取り組む姿勢を表しています。